

丸山湿原群保全の会会報

(第 123 号)

発行日：平成 29 年 10 月 18 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061 (今住)
いますみ

E-mail: maruyamashitugengun@gmail.com

夏のような日があると思えば、秋の長雨が続き気温は急降下。暖房も要るような天気です。毎回異常な気候と言っているようですが、次第にこれが普通と感じ始めていて恐ろしいような気がします。体調管理にご注意ください。

また、突然の選挙におおわらわの会員もおられます。選挙には必ず行きましょう。

西谷は、秋祭りも終わり一息。あと酒米の収穫が少しと黒豆の枝豆が最盛期を迎えています。お知らせですが、前号より、各自治会の回覧で会報を回していただいています。白黒で見にくいと思いますがよろしく願いいたします。ご興味のある方はホームページ（カラー）で公開していますのでそちらでご覧ください。ブログもあります。

「丸山湿原群保全の会」で検索していただければ出てきます。活動飛び入り参加も大歓迎！活動日は紙面最後に記載。

(今住 10 月 17 日作成)

ポスター紹介 9 月 3 日（日）「彩りフェスタ in 川西」に参加（ポスター新調しました）



丸山湿原に咲く花々



丸山湿原の食虫植物



丸山湿原保全の会活動

利用される方はご連絡ください。（貸出無料！）

★9 月 24 日（日）定期観察

7 名で活動 第 1 湿原ササ刈り・観察・他

前回（7・8 月）のササ刈りの続き。9 月の末というのに気温は高く長い作業は無理です。第 3 湿原は 7 月の活動で実施。第 1 湿原はサギソウ開花数調査時にカウントルートのみ刈り取りが済んでいました。残りはまだまだあります。今回もできる範囲で実施。10 月 22 日（日）にまたやろうと考えています。ササも養分をたくわ



事情があり遅れてきた刈り払い機



刈り取り後の片付け

えた後でだんだん刈り取り効果が薄くなるかもしれませんが、やらないよりはまし。来年の景観・植生にも関係してきます。頑張りましょう。しかしササは本当にエネルギー植物です。そのパワーをいただきたい。逆に奪われているのですが…。

ササ刈りのあと湿原を眺めてみると、又マガヤが美しく穂を出していました。「湿原遷移の最終を告げる」といわれる植物ですが日の光に輝く姿はなんとも言えません。でも、何とかしなくては。少し

でも湿原の命を延ばす、いやアンチエイジングできるように！

丸山セミナーin 西谷中学校 丸山湿原エコミュージアム推進協議会主催

10月6日（金）午後 初めての中学校環境学習として実施（参加者限定）100名超

本年度の「丸山湿原セミナー」は中学校で、生徒を対象に実施しました。小学3年で丸山湿原で行った環境学習を中学にも繋げられないかとの会員からの提案と九里（くのり）校長先生のご協力で実現しました。テーマは西谷の「ため池と農業」。一見丸山湿原と関係ないように感じますが、里地里山利用と湿原の維持には密接な関係があります。農業無くして丸山は語れません。

講師と内容は、本会より水田光雄さんが「西谷のため池の現状」



しっかり話を聞く小中学生



水田さんの講演

としてため池の希少植物を中心に。メインは本会顧問の内田圭さん（博士 横浜国立大学研究員）による「農地は生物多様性が高い生態系」。西谷の自然は日本中を探しても大変稀有な場所であること。農業を続けていくことが自然を守るうえで大変重要であることとお話しされました。この講演には小学校4・5・6年生も参加してくれました。内容的には少し難しい（マニアック？）な部分もありましたが、「なんか西谷の自然がすごいらしい。自分の家の田んぼや、ため池にすごいもの（動植物）が棲んでいるのでは？」と気づきがあれば大成功だと思います。そこから興味を持ち、生物多様性の意味を理解して欲しい。それが人の多様性の理解にもつながると思うのは私だけでしょうか？大切なものは知らない間に消えていくような気がするのです。だから気づきを大切にしてほしいと思います。説教じみしました。反省。



内田さんの講演

小学生が退場した後、椅子のセッティングを変え講師と生徒代表6名を交えたパネルディスカッション。テーマは「西谷の自然は本当に魅力的？」。生徒たちが本当はどう思っているのか知りたかった。うまく話を引き出せなかったのですが、西谷のことを「自慢できる」

「好きである」と多くの生徒が思っていることは感じました。私の子ども時代は「田舎者」とか言われた記憶が…ただの劣等感だったのかも知れませんが、自分の中で「自慢＝誇り」にできるものがなかった気がする。高校の弁当に「松茸の天ぷら」が入っていたことぐらい？今はこれも夢物語…なかなか採れません！

生徒に西谷自慢を聞いてみるとやはり「自然」と。ところが自然に興味があるかの問いかけにはほとんどの生徒が「ありません！」ときっぱり。さらに「虫が世の中から消えて（絶滅）ほしい人は？」の問いかけには10名ぐらいの手が！（全校生徒47名中）。正直な答えだと思います。身



パネルディスカッション後のお話

近過ぎるから興味がないのか？「虫＝害虫・気持ち悪い」が世の中の流れなのか？講師の内田さんからは、虫がいなくなれば人類も滅亡するとお話がありました。群集生態学が専門。重たい言葉だと思います。生物多様性の根幹をなすことだと思います。広い意味では、すべての生き物に存在する理由と意味があるに違いないのです。哲学的やな～。

「自然」を自慢するなら具体的な何かを語ることができればいいと思う 1 日でした。丸山湿原を自慢するなら丸山湿原の何を自慢するか？同じかな…「何となく」も大事ですが、具体的にになるとより深く理解できもっと自慢できるはず。でも、好き嫌いは自由。嫌いでも自慢はできます！ダイバーシティ（多様性）西谷です。セミナーだけではなくこれからも中学校との連携を続けたいと思います。

このような機会を与えていただきありがとうございました。次回はぜひフィールドで！

活動報告

★10月14日（土）定期活動 4名で活動 曇り～雨

定期基礎調査、巡回、ごみ回収、観察

目的	市内	市外
丸山	10	17
ハイキング	6	12
その他	5	0

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度（EC）	PH
入口	10：0	20.0℃		
視点場	11：13	20.0℃		
第3湿原	10：39	【17.2℃】	35.7 μ S/cm	6.3
第1湿原	11：21	【18.3℃】	30.6 μ S/cm	
第2湿原				

来場者数 計 50 人
(竹筒ポスト人数)

皆さん秋はいろいろお忙しいようで少し寂しい活動人数でした。後半雨も降りだし、第2湿原のデータは諦めました。第1湿原のPHは完全にデータ取り忘れしました！しっかりしましょう！

【入口～湿原】

駐車場付近のヌルデ。毎年虫こぶ（虫えい）が観察できます。今観察できるのはヌルデミミフシ。名前の通り耳の形に見えます。この虫こぶは乾燥したものを五倍子（ごばいし）と言い、昔は薬や染料・お歯黒の原料として使われていたそうです。虫こぶ類はタンニンを多く含み薬用に多く用いられていたようです。

名前の由来は、ヌルデ＋ミミ＋フシ。ヌルデにできた耳のような形の節。以前にもどこかで説明したような気がしますが、虫こぶは植物が虫のために作ってやるベッドです。ヌルデミミフシはヌルデ



ヌルデミミフシ（虫こぶ）



ヌルデミミフシの中のヌルデシロアブラムシ

シロアブラムシのベッド。中を割ってみるとアブラムシが沢山出てきました。利用する場合は、この中の虫も一緒に利用することが多いとか。これを知ったら虫嫌いの人はどうする？？？成分表にヌルデシロアブラムシと記載？ありえないでしょうね。

原料「虫こぶ」OK!?



オオスズメバチの巣

に巣を作る様、ハッチに連絡してください。いかん！ハッチはミツバチでスズメバチに食われちまう！昭和ですいません。カマキリも怖かったな～（ハッチ談）。

【湿原周辺】

タカノツメが落ち葉となりキャラメルのような発酵臭を出してい



ツルリンドウの実



オオウラジロノキの実

ました。いよいよ冬近し？奇妙な陽気ですが…。ツルリンドウ・サルトリイバラ・ガマズミ類の赤い実が美しい。下草のようにコウヤボウキが至る所に咲いていました。薄いピンクで楚々とした花です。箒が作られるのも納得という量です。一番驚いたのは、オオウラジロノキ！何度か紹介していますがバラ科リンゴ属。秋といえばリンゴです。歩道に1つ落ちていて木の下を見ると1000個は軽く超える小リンゴが！リンゴだらけです。真っ赤まではいきませんが赤い実を皆さんで試食。「うまい！」訳がありません。「渋い！」しかしほのかにリンゴの味が。渋柿ほど口には残りません。リキュールにできるとか。ジャムは？などいろいろ案が出ましたが邪魔くさいということで終わり。天然記念物エリアですし。ダメですね。特産物として売り出すとか、資金源に。冗談です。



サルトリイバラの実



コウヤボウキ

【ほかに観察できた動植物】 雨模様のため写真が暗くなっています

ウメバチソウは花盛り。今年は例年以上に開花数が多いように感じました。また、スイランも湿原の中を含め多く咲いています。秋の花は開花期間が短いのでご覧になる方はお急ぎください。まだサワギキョウ・アキノキリンソウ・ミミカキグサ3種観察できます。タヌキの頭蓋骨も…



ウメバチソウ



スイラン



アキノキリンソウ



タヌキの頭蓋骨

・10月20日（金）西谷小学校3年生環境学習3回目（フィールド学習2回目）

・次回活動日10月22日（日）11月11日（土）26日（日）ご参加を！（10:00駐車場集合）